

皆様こんにちは。

私は学校法人 茶屋四郎次郎記念学園 東京福祉大学・大学院 創立者・総長・学長 教育学博士 中島恒雄と申します。本日はどうぞよろしく申し上げます。

本日は「福祉大学マネジメント及び教学システム」という題に基づいて話をいたします。

まず簡単に私の学歴と経歴を紹介します。私は日本の天皇陛下が卒業されたのと同じ学習院大学法学部法学科を卒業しました。37歳でアメリカに留学して42歳の時にニューヨークのフォーダム大学教育学大学院で教育学博士号を取得しました。その後はハーバード大学から招聘学者として招かれ、フォーダム大学社会福祉学大学院から特別高等客員教授に任命されたこともあります。

また私は日本の歴史的偉人の茶屋四郎次郎の17代目直孫にあたります。織田信長が明智光秀の謀反で亡くなった本能寺の変の直後に、命を狙われる立場になった徳川家康を堺から岡崎へ逃れさせるために、茶屋四郎次郎は、小判を撒いて徳川家康の護衛をして道案内をし命を助けたことで知られています。後に徳川家康は江戸幕府を開きましたが、もし茶屋四郎次郎がいなかったら、江戸時代はなく21世紀の日本の現在もなく世の中も違ったものになっていたかもしれません。

茶屋四郎次郎は江戸時代初期には徳川幕府の許しを得てご朱印船貿易で現在のベトナムと交易をしたことでも知られています。東京福祉大学の校章にはそのご朱印船をデザインしています。茶屋四郎次郎が約400年前に行った御朱印船貿易に懸けたチャレンジ精神やそれで得た国際的な広い視野を、今の学生たちに伝えていきたいという、東京福祉大学グループの理念には私の強い思いが込められているのです。

私が2000年に創立した東京福祉大学は、設立当初は群馬県伊勢崎市の伊勢崎キャンパスに社会福祉学部だけで、通学課程の総定員800名でスタートしました。

開学から20年以上経った現在は、東京都の池袋、王子、愛知県の名古屋にもキャンパスが増えました。学部は心理学部、教育学部、保育児童学部と短期大学部も増えました。社会福祉学、心理学は大学院修士課程と博士課程があります。教育学の大学院は修士課程のみあります。

現在の通学課程の総定員(学生数)は創立時の6倍以上の約5,000人です。

2021年5月1日現在の学生数は、通学課程では大学学部が4,401名、大学院が211名、短大が71名で合計は4,683名です。通信教育課程では大学学部が1,589名、大学院が47名、短大が350名で合計は1,986名です。通学課程と通信教育課程を合計すると6,669名になります。

教員は約250名。職員は約300名です。合計すると教職員は大学だけで491名になります。

東京福祉大学では、私が1997年に出版した著書名でありその中に教育論を詳しく述べている『できなかつた子（生徒）をできる子（学生）にするのが教育』を東京福祉大学の使命に掲げ、東京福祉大学の創立当時は、日本の他大学では全く前例がなかったといえる「アクティブ・ラーニング」を、私が教育学博士の学位を取得し教育学を研究した米国フォーダム大学からいち早く東京福祉大学の大学教育に取り入れて実践し、学生に「問題発見能力」と「問題解決能力」を習得させて、この能力を生かして社会福祉を中心とした分野に従事する多くの優秀な人材を日本の社会に広く輩出してきました。現在の日本の文部科学省は私がこの著書で日本社会に広く紹介した教育理論による教育効果を認めて、日本の高等教育の基本的の方針として各大学が「アクティブ・ラーニング」を実践することを提唱しております。

もちろん文部科学省は、日本の初等・中等教育においても「アクティブ・ラーニング」の実践を提唱しておりますので、東京福祉大学で教育学を学んだ学生が小・中学校の教員に採用されたならば、東京福祉大学の教育で教育方法を学び自らの体験をも生かして小・中学校で「アクティブ・ラーニング」を実践することができるのです。

東京福祉大学は、日本の他大学に先駆けてこの教育実践を創立から20年以上積み重ねて、他大学とは比べ物にならないほど発展、充実させてきました。東京福祉大学に入学する前に通っていた高校のランキングが低く、公務員試験にはとても合格できるレベルでは全くなかった高校生でも、東京福祉大学に入学して教育メソッドに従い学習を重ねれば、見違えるように優秀な人材に生まれ変わり変身し、その客観的成果として、難しくてなかなか合格できない公務員試験と教員採用試験、あるいは社会福祉士や精神保健福祉士、臨床心理士などの国家資格試験に合格できるようになります。これらの試験にはコネで合格できることは全くなく、学力がなければ合格できないのです。

東京福祉大学では、それぞれの授業の終了時に学生の理解度を確認するために確認テストを実施しています。ほとんど100%の学生が毎回確認テストでは満点を取ることができます。つまり1回の授業の中で教育効果が上がっているのです。毎時間の確認テストが学習成果の評価方法の一つと言えます。最終的には公務員試験、教員採用試験、社会福祉士、精神保健福祉士、臨床心理士などの国家試験に大勢の学生が合格することをもって、客観的な学修成果の評価結果となると言えるのです。

ここで述べる公務員合格者は福祉職と保育士が内訳の多数を占めています。東京福祉大学で福祉分野や保育分野の専門科目を学習したら、安定した収入を得るために公務員試験に合格して、公務員の福祉専門職、公務員の保育士に就くことを東京福祉大学は学生へ推奨しているのです。社会福祉法人等の公益法人が経営主体の社会福祉施設と保育所がありますが、公務員の方が収入や身分の保証が断然有利なのです。

東京大学や群馬大学、名古屋大学をはじめとした日本ではトップクラスの国公立大学の優秀な学生でさえ、公務員試験が不合格となる例があります。それは何故かというところ

トップクラスの大学には高校まで優秀だった学生が入学するので、学生は公務員に合格するためには自学自習をするため、大学教員は自分の研究には熱心でも教えることには熱心でなく、大学には公務員に合格するための教育システムは備えていないのです。

東京福祉大学では公務員試験に合格するための教育システムがあるので、高校時代までは「できなかった」と思われる東京福祉大学の学生が昨年も今年も公務員試験に多数が合格しました。公務員や国家資格を手に入れば、生涯に亘り安定した裕福な生活を手に入れることができるのです。東京福祉大学の大学教員はそのお手伝いをするのが東京福祉大学の使命であるので、今後も一名でも多くの学生がこれらの難関の試験に合格できるように教職員と一緒に総長である私は努力していきます。

また、母子家庭や貧困家庭の高校生は、就学資金が十分になく経済的な理由から大学で学びたくても学ぶ機会が得られず、貧困が原因で大学への進学をあきらめざるを得ないことが福祉施策上において社会問題化しています。高い学歴がなくては良い就職先にも就けずに貧困から脱出できないという「負の連鎖」が続くのです。

東京福祉大学では、就学資金のシステム等の社会資源をよく知らないために大学進学を諦めている母子家庭や貧困家庭の高校生に対して、入学時には国あるいは自治体の奨学金や、本学独自の奨学金制度が就学資金としてあることを丁寧に紹介し説明しています。これらを就学資金として使うことにより、母子家庭や貧困家庭の学生も東京福祉大学で学ぶことが可能になります。そして本学で4年間一生懸命勉強すれば、難しい国家試験に合格して公務員という安定した仕事に就くことや、社会に役立つ国家資格を手に入れて専門職に就くことができるなど、収入が安定し裕福になり、それまでの貧困の負のスパイラルから脱出できる絶好のチャンスを得ることができます。なお、東京福祉大学では、通常のカリキュラムに公務員講座の科目を組み込んで、学生に追加の学費負担をさせないので事実上無料で講座を開講していますが、他大学では、学生が学内の公務員講座に参加するためには、年間100万円以上かかる高額な学費とは別に年間平均約30万円の費用を更に負担しなければ公務員講座を受講できないとのことですので、他大学では、裕福でない学生は資金が足りないため講座を受講できないため公務員に合格するのは到底難しいのです。東京福祉大学は学生や保護者の学費負担を軽減することで、福祉の観点においても貧しい学生やその家庭に対しても社会貢献をしているのです。

このように、経済的に貧しい家庭や、高校時代に優秀でなかった高校生でも、本学に入学することにより、公務員試験や教員採用試験、各種国家試験にほぼ100%合格し、夢をかなえ、将来は安定した生活を送ることができる可能性のある大学としてますます教育を充実させることが、私が考える東京福祉大学の将来計画です。そのために、アメリカの名門フォーダム大学で取得することがとても難しい教育学博士の学位を取得した、教育学の専門家である私が自ら、東京福祉大学の教員に効果的な教育方法ができるように毎日のように教員へ教え方の指導をしています。

つまり、私は東京福祉大学において「ファカルティ・デベロップメント (FD)」に力を入

れているのです。東京福祉大学にはFD専門部会を設けて、専門部会員は長年にわたり在籍し東京福祉大学の教育方法をよく理解している教員を中心に構成し、東京福祉大学の全ての教員が教育方針に適した教育効果のある授業をできるように研修を行っています。

私とFD専門部会と共働して、授業見学と教員研修会を行い、東京福祉大学の教員に効果的な教育ができるように指導をして、確実に成果を上げているのです。

教育効果のある「アクティブ・ラーニング」の授業を教員誰もが簡単に習得できるわけではありません。アメリカの大学で教育学博士を取得して、「アクティブ・ラーニング」を実体験したものにしか教育効果のある本当の「アクティブ・ラーニング」を実践することは簡単にはできません。したがって、アメリカで教育学博士を取得した私が、授業を担当する教員へ実際の授業の中でアドバイスをして直接研修を行っているのです。

学歴的には優秀でも、できない学生の気持ちを理解することができない東京福祉大学の担当教員がいれば、今後も訓練指導して、東京福祉大学の理想を達成し、現代日本の社会問題となっている経済格差等の負の連鎖構造を改善し貢献するためにお役に立てる大学にしていきたいと私は考えています。

東京福祉大学では、学生へのキャリア支援を充実させるために東京福祉大学の教務課に就職支援室、教職課程支援室、福祉専門職支援室を設置しています。

それぞれの支援室が担当する採用試験、資格試験と実習について、学生の支援をしています。

これらの支援室が担当する採用試験と資格試験については、これまでに述べましたことを実践するために、私がこの支援室へ直接指示をして、学生への指導を最善のものになるように行っています。

東京福祉大学の学生の実習先、就職先について触れますと、東京福祉大学とは別の経営の社会福祉法人になりますが、私が設置した老人ホーム「社会福祉法人茶屋の園 たちばなの園白糸台」、保育園「社会福祉法人 茶屋福祉記念会 幼保連携型認定こども園 茶屋とくしげ保育園」があります。それぞれ東京福祉大学の学生の実習先や就職先になっています。

詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.chayanosono.jp/>

<http://www.chayatokusige-ns.jp/>

高齢者福祉について目を向けますと東京福祉大学には介護福祉士の養成課程があります。「社会福祉学部社会福祉学科社会福祉専攻介護福祉コース」で介護福祉士を取得することができます。介護福祉士養成課程の定員は80名です。

私は東京福祉大学の他に、東京には学校法人サンシャイン学園 東京福祉保育専門学校

も設置しました。この専門学校では保育士と介護福祉士を養成しています。この専門学校では、昭和 62 年(1987 年)に日本で「社会福祉士および介護福祉士法」が法施行された直後に、日本で初めて昭和 63 年(1988 年)に厚生労働省から認可された日本で最初の介護福祉士養成課程である「介護福祉学科」を設置しました。この学科の定員は 80 名です。30 年以上も優秀な介護福祉士を養成してきました。

名古屋には「学校法人たちばな学園」があり 2 つの専門学校を設置しています。

「保育・介護・ビジネス名古屋専門学校」では厚生労働省の認可を受けて保育士と介護福祉士を養成しています。介護福祉士の養成課程の定員は 80 名です。

「理学・作業名古屋専門学校」では厚生労働省の認可を受けて 4 年生で大学卒業資格も取得できる理学療法士と作業療法士を養成しています。毎年ほとんど 100% の学生が国家試験を受験して合格しています。

この専門学校を卒業した優秀な理学療法士、作業療法士も日本各地の高齢者施設を中心とした社会福祉施設や医療機関に就職しています。

東京福祉大学と私が設置した池袋と名古屋の専門学校の「介護福祉士養成課程」では、近年は外国人留学生の入学が増えてきました。主にスリランカ、ベトナム、ミャンマー、カンボジアなどの非漢字圏の留学生が増えてきました。もちろん中国からの留学生も受け入れております。今後は中国からの留学生がますます大勢入学することを心から期待しております。

本日の私の講演は以上になります。ご静聴どうもありがとうございました。